児童の実態

◎「ものづくり」を楽しんで取り組んでいる児童が多い。
◎試行錯誤してアイデアを生み出すことに取り組んできた。
▲他者の考えに興味をもったり、受け入れたり、認めたりすることが苦手な児童が多い。
▲自分の考えを言語化したり、表現したりすることが苦手で、話し合いの場で意見が言えない児童が多い。
▲他者の考えが分かっても、それを広げる・つなげる・生かすことが難しい。
▲みんなで１つのものにすることが難しい。

学校教育目標

【長期的目標】
自己の豊かな能力や個性を実現させながら、よりよく考動し、社会の作り手を育てる
－笑顔とあたたかさあふれる出雲小学校－

【教育目標】
・学びあう　自己の将来を見据え、自ら進んで学び続ける
・助けあう　高い規範意識をもち、自ら考えながら適切な判断をすることができる
・高めあう　実践力をもち、明るく豊かな生活を営む態度を身に付ける

研究主題

学び続ける教師、伸びる教師

～協働的な学びを充実させる指導の工夫～

目指す児童像

自分の考えをもち、他者の考えを受けとめて生かしながら、協働してよりよいものを創り出そうとする子

【中学年】　自分の考えをもち、他者の考えを受けとめながら、協働してよりよいものを創り出そうとする子
【低学年・5組】自分の考えをもち、友達の考えを受け止めて、協力してよりよいものを創り出そうとする子

＜仮説＞「課題に対して自分の考えをもつ」、「多様な視点に触れ、思考を広げる」、「話し合ってよりよいものにする」という3つのプロセスで手立てを工夫することで、協働的な学びが充実し、児童の創造的な資質・能力の育成につながるだろう。

３つの指導の工夫

じゃあこうしよう！

話し合ってよりよいものにするための手立て

・話し合う視点の明確化　・話し合い活動における教師のファシリテーション
・話し合いを充実させる教材、教具、環境の工夫　・人数や場の設定

なるほど！

それもいいね！

多様な視点に触れ、思考を広げるための手立て

・必然性のある「協働」の場面の設定　・考えを活性化させる教師の言葉がけ
・ICT や思考ツールの効果的な活用

何でだろう？
やってみたい！

私はこう思う！

課題に対して自分の考えをもつための手立て

・こどもとのやりとりで進める授業　・授業の船に乗せる導入の工夫　・授業パートナーとの連携
・個別最適な学び　・単元の見通しをもたせるロードマップ　・振り返りによるメタ認知

研究の土台

①指導の工夫を生かす教師の授業力向上

★互いに学び合う「学びの部屋」
★互いの授業を見合う「授業交流」
★ICT 研修　★「授業改善ツール」の活用

②協働的に学び合う風土をつくる集団づくり

★特別活動の充実
★集団づくり・学級経営についての研修
★TAP(人間関係の構築への気付き)